

平成30年7月26日
秋 田 大 学

平成32年度実施の平成33年度大学入学共通テストにおける
英語認定試験及び記述式問題の活用方針等について

「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について（通知）」（平成29年7月13日付け29文科高第355号文部科学省高等教育長通知）を踏まえ、本学の平成33年度入学者選抜における大学入学共通テスト利用の骨子は、次のとおりとします。

なお、今後平成30年度末までに、より詳細な入学者選抜の見直しに係る実施内容を公表する予定です。

1. 入試区分の変更について

入試区分については、多面的・総合的な評価の観点からの改善を図りつつ、各々の入学者選抜としての特性をより明確にする観点から、次のとおり変更します。

〈現行〉		〈33年度入試から〉
一般入試	→	一般選抜
A〇入試	→	総合型選抜
推薦入試	→	学校推薦型選抜

2. 大学入学共通テスト

(1) 「一般選抜」において、高等学校等における基礎的教科・科目についての学習の達成度を測るため、原則として5教科7科目を課します。

(2) ① 英語科目については、大学入学共通テスト（以下、「新テスト」という。）の枠組における5教科7科目の位置づけとしての独立行政法人大学入試センターが認定した民間の資格・検定試験（以下、「英語認定試験」という。）を、「一般選抜」の全受験生に課します。

② 英語認定試験の活用方法については、得点換算して新テストの英語試験の得点に加点します。

③ 大学入試センターの新テストを課す「学校推薦型選抜」における英語科目についても②と同様にします。

(3) 新テストにおける記述式問題（国語・数学）については、5教科7科目を課す原則の下、記述式問題を含む国語及び数学を「一般選抜」の全受験生に課します。

国語の記述式の段階別成績表示については、その結果を点数化してマークシートの点数に加点します。

数学の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、及び大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点がなされることから、従来のマークシート式と同様の取扱いとします。

大学入試センターの新テストを課す「学校推薦型選抜」における国語及び数学についても同様にします。

以 上